

本ハンドブックの使い方

「英語による授業実践ハンドブック」をお手に取っていただきありがとうございます。本ハンドブックは、経験豊富な英語ネイティブ教員から「英語で授業をすることになった／している」教員の方々への激励とティップス（ちょっとしたコツやテクニック）がたっぷり詰まった一冊です。著者が Introduction (p.1～) で示しているように、次の点を重視してまとめられています。

- ◆ 重要な概念に関する簡潔な解説
- ◆ もっと知りたい人におすすめする文献・ウェブサイト
- ◆ 授業で使える実例集（英語でのいいまわし、活動例）

本ハンドブックの中には、Scholarship of Teaching and Learning (SoTL) ということばが何度か登場します。SoTL とは「教員による授業実践に関する学術的探究を通して教授・学習過程を改善する試み¹⁾」を指し、日本語では「教授・学習の学識¹⁾」または「教育と学習に関する学究的活動²⁾」と訳されます。本ハンドブックで紹介しているティップスは、その多くがこれまでに蓄積されてきた SoTL に基づくものです。これらの情報が、読者の教育実践をより豊かなものにする一助となればうれしいです。

さて、一言で「英語で授業をする」といっても、これに関わる教員の方々のニーズは多岐にわたることでしょう。そこで、序章から順を追って読み進める以外にも、ご自身の課題意識や興味に合わせて、適時、必要なティップスに気軽にアクセスしてもらえそうなブックレットにしたいと考えました。ぜひ次ページからのシチュエーション／ニーズ別おすすめ項目を参考に、これからの教員生活のそれぞれの場面において、幾度となく手に取ってもらえる一冊にしていだければ幸いです。

¹ 吉良 直 (2010) 「米国の CASTL プログラムに関する研究」『名古屋高等教育研究』10, pp.98-116.

² 羽田貴史監訳 (2014) 『FD ガイドブック』(Gillespie et al. (2010) *A Guide to Faculty Development*, Jossey-Bass.) 玉川大学出版部.

本ハンドブックを効果的かつ効率的に活用してもらいたいという思いから、次の3つのシチュエーション／ニーズを想定しました。

- ◆ **そろそろ英語で授業を担当することになりそう…**
- ◆ **既に英語での授業を担当しているけれど…**
- ◆ **あらためて基本的なことから学んでみたい…**



そろそろ英語で授業を担当することになりそうなあなたに…

近い将来、英語による授業を担当することが予想されるあなたには、次のうち特に興味をひかれる項目から読み進めていくことをおすすめします。

- **英語で授業を行うにあたって、まず踏まえるべき事項を知りたい**
 - ☞ 1.1 Diversity (p.5)
 - ☞ 1.2 Organizational Features of English (p.8)
 - ☞ 1.5 Student Expectations (p.27)
 - ☞ 2.1 Individual Learning Experience (p.31)
 - ☞ 2.2 Teacher-centered/Student-centered (p.34)
- **授業で使える便利な英語の言いまわしを知りたい**
 - ☞ 1.2.3 Transitional words and phrases (p.16)
 - ☞ 1.3 Positive Reinforcement (p.18)
 - ☞ 1.4 Politeness (p.22)
- **授業をデザインする際に踏まえるべき事項を知りたい**
 - ☞ 2.3 Bloom's Taxonomy (p.35)
 - ☞ 2.5 Curricular Alignment (p.45)
- **英語でシラバスを作成する際にどうしたらよいか知りたい**
 - ☞ 2.4 Outcome Statements (p.43)
 - ☞ 2.7 Student-centered Syllabus (p.52)
- **英語の発音に不安がある**
 - ☞ Having problem with English pronunciation? (p.4)



既に英語で授業を行っているあなたに…

現在既に英語での授業実践を積み重ねているというあなたには、次のうち特に興味をひかれる項目から読み進めていくことをおすすめします。

- **自分の授業を改善したい／より充実したものにしたい**
 - ☞ 1.5 Student Expectations (p.27)
 - ☞ 2.3 Bloom's Taxonomy (p.35)
 - ☞ 2.5 Curricular Alignment (p.45)
 - ☞ 2.6 Benefits of Active Learning (p.48)
- **シラバスや授業資料を拡充したい**
 - ☞ 2.2 Teacher-centered/Student-centered (p.34)
 - ☞ 2.7 Student-centered Syllabus (p.52)
- **授業で使える実践的なアクティビティやテクニックについて知りたい**
 - ☞ 2.8 Community Building (p.61)
 - ☞ Chapter 3: Incorporating Active Learning into your Classroom (p.82)
- **学生とのコミュニケーションをより豊かにしたい**
 - ☞ 1.3 Positive Reinforcement (p.18)
 - ☞ 1.4 Politeness (p.22)
 - ☞ 2.1 Individual Learning Experience (p.31)
 - ☞ 2.8 Community Building (p.61)
- **プレゼンテーションやエッセイを導入する方法について知りたい**
 - ☞ 1.2.1 Organization of English (p.10)
 - ☞ 1.2.1 Outline format for presentation and essay (p.13)
- **グループワークを取り入れているがなかなかうまくいかない**
 - ☞ 2.8.3 Issues related to interaction and group work (p.70)
 - ☞ 2.8.4 Ways to build a community in the classroom (p.71)
- **明確なニーズは思いつかないが、何か役立つティップスを得たい**
 - ☞ Appendix (p.117～)を眺めて、気になる項目の本文を参照してみましょう
 - ☞ Index (p.142)を眺めて、気になるキーワードのページへどうぞ！



あらためて基本的概念から学びなおしたいあなたに…

アクティブ・ラーニングに取り組んでいるけれどいまいち…、FD 担当になった…というあなたには、次のうち特に興味をひかれる項目から読み進めていくことをおすすめします。

- **アクティブ・ラーニングとはそもそも何なのか問い直したい**
 - ☞ 2.2 Teacher-centered/Student-centered (p.34)
 - ☞ 2.6 Benefits of Active Learning (p.48)
- **ありがちな問題への対処法を確認したい**
 - ☞ 2.8 Community Building (p.61)
- **FD 担当者としてのネタを仕入れたい**
 - ☞ 1.5 Student Expectations (p.27)
 - ☞ 2.1 Individual Learning Experience (p.31)
 - ☞ 2.2 Teacher-centered/Student-centered (p.34)
 - ☞ 2.3 Bloom's Taxonomy (p.35)
 - ☞ 2.5 Curricular Alignment (p.45)
- **自分の知識がどの程度のことをカバーしているか確認したい**
 - ☞ Index (p.142)を眺めて、気になるキーワードのページへどうぞ！

ご自身の課題意識や興味に該当する項目は見つけられたでしょうか？本ハンドブックをきっかけとして、紹介しているウェブサイトや文献も活用しながら、よりポジティブな気持ちで英語による授業実践に取り組んでもらえたらうれしいです。